非核・いしかわ

2020年2月20日　月刊第259号

〒920-0848 金沢市京町28-8　石川民医連労働組合気付
非核の政府を求める石川の会
TEL 076-251-0014　FAX 076-251-3930
http://hikakuishikawa.com/

非核五項目
① 全人類共通の課題として核戦争防止、核兵器廃絶の実現を求める
② 国是とされる非核三原則（つくらず、もたず、もちこませず）を厳守する
③ 日本の核戦場化へのすべての措置を阻止する
④ 国家補償による被爆者援護法を制定する
⑤ 原水爆禁止世界大会のこれまでの合意にもとづいて国際連帯を強化する

核兵器禁止条約の調印は81か国、批准は35か国（2月15日現在）

1面 北陸原水協学校の報告　内藤晴一郎
2面 改憲発議に関する全国緊急署名／賛同を広げ必ず止めよう
3面 【投稿】社会保障を求めるのに「国の借金」にビビるな！　松尾　匡
4面 ７３１部隊を追って／今、何が問われているのか？
5面 「はだしのゲン」アラビア語版が全巻発刊！
人間らしくもっと自由に　佐藤正幸
6面 人間都市・金沢[都市の品格]とは　永山孝一
6面 新刊案内「いのちを選ばないで」
7面 ＜独標＞旅の途中　若松きぬえ
祖母の口ぐせ　石川あい
8面 いしかわの戦争遺跡めぐり　中西　優
絵手紙コーナー　近松美喜子

【報 告】

北陸原水協学校inとやま

核兵器のない世界の扉を開こう

石川県原水協　内藤晴一郎

一月二六日、富山市・サンフォルテで北陸原水協学校が開催されました。富山、石川、福井三県から一二〇人が参加し、被爆七五年・核不拡散条約（ＮＰＴ）五〇年の今年、核兵器廃絶の草の根の運動の前進を誓い合いました。

日本原水協担当常任委員の大越文さんが「被爆七五年・核兵器のない世界の扉を開こう」と題して講演し、以下のように述べました。

120人が参加して開かれた北陸原水協学校

核兵器廃絶を求める世界の世論と運動、被爆者の訴えが世界を大きく動かし、二〇一七年に核兵器禁止条約が成立し、現在は三五か国が批准し、あと一五か国が批准すれば発効します。しかし日本政府は妨害しています。

今年はＮＰＴ再検討会議に合わせて、気候の変動に対する内外の運動と連帯し、ＮＹで原水爆禁止世界大会が開かれることは画期的なことです。世界中の反核平和の運動と市民運動がＮＹに結集するので、被爆者の訴えを世界に広める時です。ＮＹをパレードして中満泉さん（国連事務次長）が出迎えるなか、ハマーショルド広場で、高校生、連合、生協、原水禁、原水協の共同行動で署名を提出します。

三・一ビキニデーや平和行進の中でも被爆者の思いを伝える私たちの行動が大切です。核兵器禁止条約の発効に向けて、ＮＰＴ第六条にある核兵器廃絶の努力を実行させるため、声を上げ署名を集めて、世界大会代表に託しましょう！

花鳥風月

「募ったが募集はしていない」「公開対象にあたることと公開することは異なる」「合意したけど契約していない」と言語と議論を破壊し、汚職まみれでカジノを推進し、国連の要請もなく国会も無視して自衛隊を中東に派遣し、隠しても隠蔽でなく、改めても改竄でなく、捨てても廃棄でないとするわが政権。だがこれを選出したのはわが国民。まあ投票結果を歪める選挙制度が諸悪の根源なのだが▼それにしても〝民主主義〟の劣化と機能不全を深く憂う。先達が腐心した権力のチェック・アンド・バランス（抑制と均衡）は機能せず、民主国家としての信頼は崩れつつある▼しかし二〇一五年国連サミットで採択されたのが〝持続可能な開発のための２０３０アジェンダ（政策課題）〟。これは貧困、教育、気候変動など一七分野にわたり、世界と地球を永続させるべく取り決めた開発目標（ＳＤＧｓ）だ。ローマ教皇が長崎と広島から世界に向けて〝核兵器廃絶〟を発したのも本当に素晴らしかった▼世界の知恵者はなかなかの識見を持っている。国内の珍問答は問題外の低レベル。国外に目を向けると、まだまだ棄てたものでない。諦める心に抗いたい。（中）

緊急の新しい署名です

「改憲発議に反対する全国緊急署名」

賛同を広げ、必ず止めよう

一月二〇日に開会した通常国会の冒頭、安倍首相は施政方針演説で改憲案の発議に向け審議促進を呼びかけました。安倍首相は自らの総裁任期の二〇二一年九月までに「私の手で改憲を成し遂げていきたい」と政治目標に掲げ決意を語っています。

改憲発議をさせない正念場

二〇二〇年の通常国会と臨時国会で「改憲発議」を許すかどうか、さらに二〇二一年通常国会会期中に安倍改憲の国民投票を許すかどうか、が正念場です。

九条をはじめとする自民党の四項目改正案は絶対に阻止しなくてはなりません。四項目改正案はいずれも改憲の必要性、合理性を欠くうえ、日本国憲法の基本原理である平和主義、主権在民、基本的人権の尊重を破壊するものです

私たちが集めた一〇〇〇万筆の署名や安倍改憲NO！の声が自民党の改憲案を阻み、先の参議院選挙で改憲発議に必要な三分の二の議席を許しませんでした。

安倍首相のもとでの改憲反対は国民多数の声であり、先の参議院選挙での市民と野党の一致点です。

「改憲発議に反対する全国緊急署名」の呼びかけに賛同し、会員のみなさんへ署名のご協力をお願いいたします。

三〇〇〇万署名をいただきました方も新しい署名ですので、あらためてご本人、また友人知人へ署名のお願いをいたします。

非核の政府を求める石川の会
常任世話人会

◆解説◆ 自民党改憲四項目とは

①自衛隊を憲法に明記

九条の二項を新設し「自衛隊」を明記する条文を加えるものです。

明記することで自衛隊は憲法上の存在となり、「戦力の不保持」を定めた九条二項は死文化します。集団的自衛権の全面的行使が可能になり、「戦争のできる自衛隊」となります。自衛隊が国際標準の「軍隊」になるのです。

国防費が大幅に増え、教育、子育て、福祉、医療などに使われる税金は必然的に減っていくでしょう。

②緊急事態

「戦争」や「内乱」、「自然災害」などの緊急事態の際、権力者が憲法を守らずに自由に行動することを認めることが「緊急事態条項」です。

「自然災害に対応するため」と主張しているが憲法を改正しなくても「災害対策基本法」などがあり対応ができます。「戦争」による緊急事態は昭和の戦争の歴史から十分知ることが出来ます。

ズバリわたしたち国民の言論・権利・自由などが侵害される条項です。

③教育環境の整備

自民党の二六条改憲案は「人格の完成と、国の未来を切り拓く重要な役割を担う」と書いてあります。「人格」とは国家の要請に従う人、「国の未来を切り拓く」とは国のために命をささげてもよいと考える人を育てることにつながっています。

戦前の教育の過ちを反省して作られた教育基本法が二〇〇六年第一次安倍内閣の時に「改悪」されました。

「教育を不当な支配に服することがないよう、直接に責任をもって行われるべき」となっていたところを「法律の定めるべきところにより行われるべきもの」と変えました。その後の指導要綱では道徳を教科化しこれまでなかった「学習内容、指導方法、身につける態度」まで示し「教育支配」を強めようとしています。

二六条の改憲案の狙いは「教育基本法」を変えた延長線上にあります。

④参議院議員に都道府県代表

四七条改憲案の「行政区画、地域一体性、地勢等を総合的に勘案して」選挙区や定数を決めれば、例えば各県ごとに一人の議員を選んだ場合、これまでより格差が開きます。「一票の格差」で憲法判断が争われる裁判が今も続いています。この条項は「格差違憲」裁判で「違憲」判決を出させなくするための改憲です。

憲法四三条では「両議院は、全国民を代表する選挙された議員でこれを組織する」と決められていますが、参議院は国民の代表でなく都道府県の代表という位置づけになります。

（参考「日本バプテスト連盟発行リーフレット」より）

【投稿】新春社会保障講演会・講演要旨

社会保障を求めるのに「国の借金」にビビるな！

立命館大学教授　松尾匡（ただす）

「国家財政を家計になぞらえてはならない」と説く松尾匡さん

意図的に煽られている財政不安

「日本は社会保障のために多額の借金を抱え込んでいる」「消費税を上げ社会保障費を削らないと、財政が破綻する」などと喧伝されていますが、ご心配には及びません。誰かが借りる時は誰かが貸しているのです。

民間企業の設備投資が旺盛で、民間貯蓄で賄いきれない高度成長期には、財政黒字が基調となるのであり、民間企業の設備投資が落ち着き、高齢化途上で貯蓄が多い成熟期には、財政赤字が基調になるのは必然なのです。

むしろ成熟先進国が財政黒字を出すのは、民間債務拡大の表れであり危機の兆しであって、実際にその後、バブルが崩壊してきました。貯蓄と投資は鏡の関係にあり、「低成長期に設備投資が停滞するのは必然」「財政赤字はひたすら削減すべき」とは言えないのです。設備投資が停滞しているのに、増税や財政削減で財政赤字を解消するのは大不況を招きかねません。

中央銀行は意図的におカネをつくる

実は、世の中のおカネの大半＝預金は、銀行からの借金で作られています。銀行が融資先口座におカネの額を書き込むと、それが世の中に出回るのです。ですから銀行におカネを返すとその分、預金が消える＝世の中からおカネが無くなるのです。国債も銀行が買っていて、それに見合っておカネ＝預金が作られています。

経済が成熟して設備投資が落ち着いて貸付が減ると不況になります。そんな時は国の借金を増やしておカネを回さないと雇用を維持できなくなります。ここで国債を返すとまたおカネが足りず不況になります。だから国債の期限が来ても借り換えをして国債の量を減らさないようにしないと不況や失業が問題となるのです。出回るおカネの購買力が、世の中全体の財やサービスの供給能力以内なら、国債のおカネは返すべきではないのです。

銀行はおカネを返してもらっても、国債が消えて利子がもらえなくなるだけで、何のメリットもありません。ですから利子が取れる限り、借り換えに応ずるのです。中央銀行の持つ国債は、原則として借り換えし続けるものなのです。

税金（課税）とは何のために

結局、税金とは何のためにあるかと言うと、人々の購買力を削って総需要を生産能力の範囲内に抑え、インフレを抑えるためにあるのです。おカネは、国家財政の帳尻を合わせるのが目的ではなく、インフレを管理できればよいのです。おカネの総需要が生産能力に満たない時は、通貨発行で財政を賄ってもよいのです。国家財政を家計になぞらえてはならないのです。

家計にとっての制約はおカネですが、国家にとっての制約は労働力などを含めた生産資源です。それは余っている限り利用できるものです。税金は何かにかけることで、税金がない場合と比べて、労働（生産資源）を移動させることが可能になるものです。例えば、「ぜいたく品（サービス）への労働配分を減らすために、物品税をかけたり、所得税の累進を強化する」のです。

社会保障は最大の景気拡大策

経済学では「将来世代に負担を残すな」論はおかしいというのが常識です。今増税しても将来増税しても、将来世代の負担は変わりません。現実としては今、増税したら消費が減って不況になるだけです。失業が増え、少子化が進行し、進学断念者が増え、設備投資が減り、将来の生産力が減少します。将来世代に負担を増やすことにしかなりません。

財政危機論で誰が得をするかと言えば結局、「法人税・所得税を下げないとオレ逃げちゃうよ」と恫喝しつつ、ビジネスチャンスと賃下げ・労働強化を狙っている資本家たちです。

我々が掲げるべき景気拡大策は、教育・社会保障への大規模な政府支出によって雇用と消費需要を拡大することであり、それは経済学上、なにも無理筋の話ではなく、理に叶っているのです。

（まとめ・寺越博之）

◎二月八日、金沢歌劇座で開かれた石川県社会保障推進協議会主催の講演会の要旨です。

医療・福祉問題研究会・例会報告

七三一部隊を追って

～今、何が問われているのか？～

医療・福祉問題研究会は一二月二一日、松ヶ枝福祉館で第一三七回例会を開催し、七三一部隊の問題を取り上げた。報告者は「一五年戦争と日本の医学医療研究会」の全国幹事で同研究会北陸支部事務局長の横山隆さん、事務局員の池田治夫さんの二人。

報告する池田治夫さん㊧、横山隆さん

メイン報告者の横山さんは、「羽咋診療所所長の仕事をしており、現役医師です」と自己紹介して話を始めました。戦時中に旧陸軍が中国東北部（旧満州）で行った筆舌に尽くしがたい非人道的医学犯罪が、戦後占領軍との取引によって戦犯として罪を問われることも、自ら償うこともなく、幹部医師らは社会に復権し、戦後七四年が経過した今も日本の医学医療のあり方に大きな影を落としていると問いかけました。

七三一部隊とは、日本が中国東北部からアジア全体を侵略していく過程で、石井四郎を隊長に陸軍軍医学校を基点にして設立され、野戦における防疫給水の名の下で細菌・化学戦のための兵器を製造し、実践した組織である。

一九三二年にハルビンに設立され、人員三五五九名（うち技師二六五名、将校一三三名）を擁して、三八年ごろより細菌戦の準備を開始し、二年後にはペストノミ散布作戦などを中国各地で展開した。その過程で約三〇〇〇人の捕虜（マルタと称して）を使って人体実験を繰り返し、四五年ソ連参戦時に施設を爆破、マルタ全員を殺害して日本に逃げ帰った。

人体実験の内容として、各種細菌やウィルス感染の予防、凍傷、輸液、極限状態での人体反応、手術練習、病理解剖等を実施した」。横山さんはこれらの事実を戦後の研究で発掘された写真、記事、書類、論文などの証拠をスライドで示しながら語りました。また、戦後、部隊の幹部医師たちがアメリカ軍に細菌戦の「研究成果」を渡すことで、戦犯として訴追されるのを逃れた経緯、そして主要大学の医学部教官として復権していく過程を辿り、これらの医学犯罪を知っていながら見ぬ振りを決め込んだ日本政府の対応、日本医師会の他人事のような態度をドイツ医師会等と比較しながら告発しました。

最後に、「これらの事実は軍の命令による行為であったとしても医師、医学者として道義的責任が問われる。政府も日本医師会も一貫してこの問題を避けて来たが、しかしそれは戦後の医学界に大きな「負」の影響を与えている。社会的に責任が問われていない要因には日米安保体制がある」とまとめられました。

・・・・・・・・・・・・・・・

池田さんは二〇一八年四月に情報公開された七三一部隊の「留守名簿」に基づいて石川県関係者四八名に聞き取り調査した結果を報告しました。

県内に本籍のある四八名中、訪問対象者が判明した者三三名のうち本人一名、家族一八名、隣人・知人一四名から証言が得られた。生存三名を確認。

具体的な証言事例として、一人は昭和五年生まれ、予告なしに訪問し、「二〇年四月少年義勇軍として満州へ、五月に七三一部隊へ移動。医学知識や遠足（行軍）の研修を受けた。何をしている部隊かは知らされなかった。一度プールに入った後、宿舎に帰ってから死ぬかという目にあった。終戦の詔勅前に爆破命令が出て後片付けをした時に白骨死体を見た」。この方は再訪問したが後の証言を断られた。

もう一人は、東京の娘宅に調査票を郵送。後日電話で「父は陸軍工科学校出身で火薬専門の技術将校として派遣され、爆破処理の責任者をしたと聞いた。GHQの調査も受けた。戦後は、農地解放で田畠をとられ、貧しい生活であった」と貴重な証言が得られた。

考察として、戦後七三年が経過して留守名簿が公開され始めて部隊の全容の一部が明らかにされたわけだが、生存者から証言を得るのは時間との闘いである。

二人の報告の終了後、意見交換が活発にされたが省略する。

（まとめ　池田治夫）

出版支援キャンペーンの後押しで
『はだしのゲン』アラビア語版　全10巻が発刊
NPO法人はだしのゲンをひろめる会

上記のTシャツは296枚販売できました

◇キャンペーンの呼びかけより

アラビア語版は、カイロ大学文学部日本語学科教授のマーヒル・エルシリビーニ氏を中心に制作しておりますが、二〇一九年五月現在、第五巻までの発行にとどまっています（六巻はまもなく発行予定）。また、アラブ諸国は元来マンガ文化が希薄なこともあり、販売にも苦戦しており、第七巻以降の出版にも遅れが出ています。私たちは出版済みの五巻までを広く普及させ、続く巻の出版資金調達が円滑にいくよう願い、アラビア語版の出版を担当しているエジプトのマハルーサ出版社への資金援助をさせていただきます。さらには、エジプト現地からアラブ諸国の子どもたちへの寄贈も検討しています。

◇キャンペーンの参加団体

プロジェクト・ゲン、TOFUTURE、パワードラック、はだしのゲンをひろめる会

◇第六巻から第一〇巻の発刊経過

巻	発刊年月
第6巻	2019年5月
第7巻	2019年8月
第8巻	2019年10月
第9巻	2020年1月
第10巻	2020年2月

キャンペーン期間
2019年5月～8月

◇キャンペーンの集約結果

『はだしのゲン』アラビア語版の発行・普及に向けた費用援助のため、キャンペーングッズ（Tシャツ&トートバッグ）の購入と寄付金への協力を呼びかけたところ、計六六万円余の支援金が寄せられました。

この度の出版支援キャンペーンにご協力いただいた多くの皆様に感謝致します。

非核石川の会リレーエッセー
人間らしくもっと自由に

佐藤正幸

二〇二〇年代、新たな一〇年の最初の年明け早々、映画館に足を運び「男はつらいよ50　お帰り寅さん」を観てきた。冒頭、ミュージシャンの桑田佳祐が「奮闘努力の甲斐もなく　今日も涙の日が落ちる」と熱唱する、なぜか涙が止まらなかった。

「国民的映画」とされるその原点は、一九六八年に放映されたテレビドラマ「男はつらいよ」であり、山田洋次監督は寅さんのような男は「この管理社会では生きていくことが難しい」と寅さんがハブに咬まれて死ぬ設定としたが、テレビ局に抗議が殺到し、映画化を決意したという。以来五〇年、山田監督はパンフレットで「今の窮屈な時代に比べて、寅さんの時代はもっと自由があった。その伸び伸びした寅さんと接することで、人間は自由でなければいけない、あるいは自由でありたいという切実な思いを、今の若い人たちと共有できたら」と語っている。

五〇年前でも「管理社会」とされた日本、今の時代はもっと「生きづらさ」「息苦しさ」を感じざるを得ない。岩波ジュニア新書『空気を読んでも従わない』息苦しさからラクになる」では、「世間」の同調圧力を指摘し、家伝社「若者保守化のリアル　『普通がいい』とうラディカルな夢」では、新自由主義が「苦しい」と言わせない社会をつくり人間を壊していく、とした。

一月一三日、金沢市額公民館の成人式の来賓あいさつで、若者たちを前に「学費無償化を求めるFree、女性にハイヒールを強いることを拒否するKuToo、など人間らしくもっと自由にと若者たちが立ち上がっていることに注目しています」と述べた。「幸せになれよ！」が口癖だった車寅次郎は、若者たちに、いや私にどんな言葉をかけてくれるだろうか。

世界一三億人の信徒を擁するローマ・カトリック教会のフランシスコ教皇が来日し、核兵器廃絶に向けた強い

決意を述べたことに象徴されるように、二一世紀の世界は着実に変わっている。その進歩にそって歩みたい。

人間都市・金沢「都市の品格」とは

永山孝一

図書館って素晴らしいね。郊外居住でもせめて中学校区くらいに安心して利用できる図書館を開設してもらって近くへ引越ししたいね。そのためには、まず障害となっている公共交通の確立が大切ですね。

金沢市民の80％を超える郊外居住者の日常は、マイカーに依存するしかなく、金沢市が掲げる『新金沢交通戦略』によっても、この依存から抜け出せないのが現実で、本来は、市民生活のためにあるはずの「都市交通」は、歴史的制約のなかにあります。

この閉塞状況を転換するには、インバウンドに目を奪われるのではなく、例えば、金沢市が提唱する「公共交通重要路線」に沿った都市郊外に、「公共サービス拠点」を設け、教育・文化・医療・福祉などについての市民生活を支援する拠点空間を構想し、「フラットバス」など公共交通がそれを支えることで、郊外は生活者にとって住み続けられる地域へと生まれ変わり、ひいては金沢が世界に誇る「都市の品格」を名実ともに向上させることになると思います。

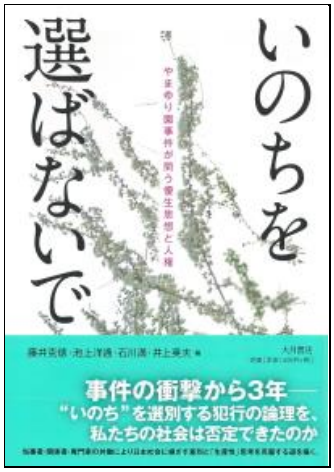
非核・平和のひろば

新刊案内

『いのちを選ばないで　やまゆり園事件が問う優生思想と人権』

井上英夫ら編、大月書店

二〇一九年一二月一六日発刊



「津久井やまゆり園」事件。二〇一六年七月二六日に発生した、戦後最大の殺傷事件から、はや三年半が経過した。

今月五日の公判では、被害者参加制度により、津久井やまゆり園の前家族会会長で、今回紹介する本にも寄稿されている尾野剛志氏が植松被告に尋問を行った。被告はパフォーマンス的に謝罪の言葉を述べる一方で、事件の動機として「社会の迷惑になっているから」、「殺した方が社会の役に立つ」という主張は変わらない。その「迷惑」の理由として述べているのが、「お金と時間を奪うから」である。私は、この言葉に、被告の嫉妬のようなものを感じた。

本来、必要とする人が必要とする分のサービスを得られることは当然の権利であり、それは社会・行政によって守られる。つまりは人権保障、社会保障である。それを、植松被告は「特別扱い」と捉え、嫉妬しているのではないか。障害があるから、介護が必要だから、医療的ケアが必要だから、手厚くサポートされる。しかし、それは特別なんかではなく、その人に合ったサービスを受けるという「固有」のニーズであり、権利である。ただ、被告がこのような考え方をしていたとして、それは被告特有の考え方ではなく、そう育てられてきた社会にも責任があるのではないか。

そこで、今回は本書を紹介したい。当会代表世話人の井上英夫氏ら四人の編者に加え、上述の尾野氏、記者など多数の執筆者から成り、二〇一六年に発刊された『生きたかった 相模原障害者殺傷事件が問いかけるもの』の続編となっているが、ハンセン病をめぐる問題、強制不妊手術問題など、多角的な視点から、今回の事件の根底にある優生思想についてアプローチされている。その一つ一つが、表出されない奥底で繋がり、影響を及ぼし合う。だからこそ、私たちは思考を止めてはいけない。声をあげ続けなければならない。

殺人という最凶最悪の暴力に対して、井上先生の言葉をお借りするならば、今こそ私たちは人権の旗を掲げ、非暴力の闘いを貫かなければならないのである。その闘いの一助に、読者諸氏にもご一読をオススメしたい。

（大田健志）

◇トピックス◇

「核兵器禁止条約」に三五か国が批准

核兵器禁止条約は、二〇一七年九月二〇日にニューヨークの国連本部で署名及び批准が始まっており、五〇か国が批准すると、九〇日後に発効します。一月二三日、南米パラグアイが核兵器禁止条約に批准し、批准国は三五か国になりました。また二月六日、新たにベリーズが署名し、署名国は八一か国となり、原爆投下から七五周年の二〇二〇年に条約を発効させる動きが加速しています。

詩人会議かなざわ「独標」より

旅の途中

若松きぬえ

振り返ると
遠くの山
水平線が光る海
あの当たりで生を受け
言葉を覚え
歩き始めた

振り返ると
街の雑踏
下宿屋の狭い共同台所
そこで生活と
助け合いを少し学んだ

日を過ごして
ふらふらと　ふらふらと
寄り道しながら
話し　笑い　涙し　怒り　歌う
一通りの情けが身についた

足早に辿り着いたここは
目に見えない下り坂
転ばぬように
命綱を手繰って
また一歩前に進む
不確かで不透明な
先に向かって

必死になくセミのしゃがれ声に
後押しされている

祖母のログセ

石川あい

祖母の話の始まりは
決まって
あの子さえ生きていれば

マラリアから結核
三二歳で死んでしまった父のこと
決まって
前掛けの端で涙を拭いていた
祖母の傍らで
女王さまのような服を着て
絵日記に表れるわたし
目玉焼きの朝ごはん
お皿には大ごちそう
お背戸は
祖母の好きなケイトウの花
母にはポンポンダリア
私は朝顔の花
なぜかスイカまで描いて
祖母の涙を笑いにし
ユメの庭で遊ぶ

大正生れの父は
健康優良児で
表彰された　そうな
目の悪い父の兄は
徴兵を免れた
父は意気揚々と出兵
マラリアに罹り
帰還した時は
別人のように痩せこけていた

ああ、祖母の言うとおり
本当に父さえ生きていたなら
あれもこれも
今よりましな生活を
送っているに違いない
折り曲がった腰を
一層屈ませてしまった祖母を
横目に
どうすることも出来ず
父を恨んだ日々

アルバムの中で　その人は
白っぽい病衣を着て
俺はいつも診療所さ　と
語っている

編集室より

◎非核の政府を求める石川の会は、会報「非核・いしかわ」二五五号（昨年一〇月二〇日発行）で原発汚染水の実態と海洋放出発言に抗議の声明を出しました▼国連海洋法条約では第一九二条「いずれの国も、海洋環境を保護し及び保全する義務を有する」とあり一九四条では「いずれの国も、あらゆる発生源からの海洋環境の汚染を防止し、軽減し及び規制するため、利用することが出来る実行可能な最善の手段を用い、かつ、自国の能力に応じ、単独で又は適当な時は共同して、この条約に適合するすべての必要な措置をとるもの」とある▼陸上でタンク保管する「実行可能な最善の手段」があるにも関らず海洋放出することは海洋環境保護の観点から認めることはできません▼トリチウム分離回収技術開発には時間が必要かもしれないが、国際的な協力共同で研究することを検討すべきだ▼国の小委員会は海洋放出が現実的というが、汚染水の海洋放出で、最も考慮すべきことは太平洋沿岸に生活する人々の暮らしと健康、そして広い海洋全体の環境への影響で漁業者にも大きな打撃を与えることを▼日本は国連海洋法条約を一九八三年二月に署名し一九九六年六月に批准、同年七月二〇日に発効した。その日を国民の祝日「海の日」と定めています。（平）

いしかわの戦争遺跡めぐり⑥

フォトグラファー　中西　優

残された防空壕／山中温泉観光協会そば

紅葉が人気のこおろぎ橋

石川県の最西部にある加賀市山中温泉はその静かな佇まいから、全国的に有名な温泉地です。その人気の秘密は落ち着いた雰囲気の温泉宿が楽しめるほか、四季折々の渓流の自然が楽しめることも挙げられます。

その一方で戦争の記憶を色濃くとどめており、海軍病院や地下軍需施設・防空壕の跡が現在でも残っています。傷ついた兵士の保養所として各温泉旅館が使われていたこと、軍需施設や防空壕建設には全国から朝鮮人労働者が集められ、強制労働を強いていたことなど、後世に語り継ぐべき記録が多く残っています。

絵手紙コーナー

金沢医療生活協同組合
絵手紙班　近松美喜子

非核・平和の掲示板

月	日	曜	時	開催内容	会場
2	22	土	10:00	原水爆禁止石川県協議会総会	金沢市上荒屋１丁目・石川学習会館２階
	22	土	14:00	2020年学習協講演会「あなたの描く未来社会はどんな社会でしょうか」	金沢市青草町・近江町交流プラザ４階
	22	土	14:00	戦争をさせない石川の会講演会「オリンピックと戦争」谷口源太郎さん	金沢市下本多町・金沢歌劇座３階練習室
	29	土	13:30	4団体合同学習会2020年　「子どもが生き生き過ごせる学校って？」松田洋介さん	金沢市富樫・教育プラザ富樫１３１研修室
	29	土	15:00	医療・福祉問題研究会例会「みんな寂しいのです　私の介護現場ノート」黒梅明さん	金沢市高岡町・松ヶ枝福祉館４階
	29日（土）～3月1日（日）			2020年　３・１ビキニデー	静岡市・焼津市
3	4	水	12:50	怒りの昼デモ	金沢市広坂・四高記念公園教育会館前口
	6	金	12:30	核兵器廃絶署名６・９行動	金沢市武蔵町・エムザ前
	6	金	13:00	憲法講座「檻の中のライオン」　弁護士 棟（はんどう）大樹さん	金沢市三社・石川県女性センター４階
	7	土	10:00	むぎわらぼうし例会「福島の今」 浅田正文・眞理子さん夫妻	金沢市青草町・近江町交流プラザ４階
	8	日	10:00	国際女性デー石川県集会　記念講演　「誰もが輝くジェンダー平等社会を実現するために」　尾西洋子さん	金沢市三社・石川県女性センター２階
	14	土	13:30	憲法発議をさせない市民の集い　中村哲さん追悼「用水が運ぶ恵みと平和」ドキュメンタリーＤＶＤ上映と話芸「世相をきる」	金沢市十一屋・十一屋生きがいセンター
	15	日	13:30	志賀原発廃炉を求める県民集会＆デモ行進　講演　「原発政策の転換で生まれる新しい展望」　藤野保史さん	金沢市高岡町・文化ホール大会議室
	18	水	12:50	怒りの昼デモ	金沢市広坂・四高記念公園教育会館前口
	20	金・休日	13:00	ピースウォーク金沢×グローバル気候マーチ金沢「今だ！地球を歩こう」	金沢市広坂・四高記念公園
4	4	土	10:00	むぎわらぼうし例会「たみちゃん・広島被爆地ツアー事前学習会」	金沢市青草町・近江町交流プラザ４階
	15	水	12:50	怒りの昼デモ	金沢市広坂・四高記念公園教育会館前口
	18	土	14:00	戦争をさせない石川の会講演会「天皇代替わりと戦争」漆崎英之さん	金沢市下本多町・金沢歌劇座３階練習室
	22日（水）～28日（火）			ペシャワール会中村哲さんを追悼し、足跡に感謝の活動写真展	金沢市鞍月・石川県庁19階展望ロビー

＊祝日は休日とします　＊毎週金曜日 18：30どいね原発アピール行動 金沢駅兼六園口　＊毎月15日石川県沖縄連帯デー 12：00

＊会報「非核・いしかわ」サポート会員を募集中　年会費 2,000円　ゆうちょ銀行口座　00760－0－15689